

リバーエコノミー創出 | 永平寺町だからこそできる川のあるまちづくり

PADDLING VILLAGE



フリースタイルカヤックでメダリストを目指す

カヌー体験からメダリストを育成



多様なパドリングスポーツが楽しめる鳴鹿エリア

コンセプト | 水と緑と歴史に学ぶまちで、目指すはメダリスト！



永平寺町を横断する九頭竜川はまちのシンボルそのものです。中部縦貫自動車道、道の駅そして永平寺門前まちなみがオープンする中、えちぜん鉄道や無人自動車開発などとの連携に加え、永平寺町の3つの河川公園や自転車道とのネットワークを強化することで、観光交流だけでなく暮らしやすいまちを目指します。私たちは、世界のどこにもないパドリング・ビレッジを九頭竜川が流れる永平寺で整備し本気でメダリストを育てます。

人は協議会設立に向けてすでに動いている！
エリアは規制緩和で尖ったコンテンツを打てる！
金はかわまちづくり支援事業でスタートが切れる！

Vision_ 将来像

水と緑と暮らしとスポーツと。育住遊一体型のまち

POINT

近畿ー北陸、福井ー中部・関東の2つの広域連携軸は、カヌー競技のメッカである揖斐川・長良川(岐阜県)、井田川(富山県)、木場潟(石川県)、そして久々子湖とここ九頭竜川。将来都市構造図の交通軸と合致します。更に永平寺町はカヌーポテンシャルの中心に位置します。住民も観光者も誰もが気軽に楽しめる水と緑の拠点として、アクセス性の向上や機能充実、周辺環境と一体となった良好な景観、視点場、2つのエリアでメダリスト育成をテーマに川のあるまちづくりを目指します。



Plan_ 計画案

尖ったスポーツエコノミーでまちを面白く！

POINT

メダリストを輩出するには練習場や競技場のハードウェアが必要であるが、スポーツ教育やエコノミーなどのソフトウェア、さらには選手や監督や地域経営者などヒューマンウェアも重要である。静水面の鳴鹿エリア、ホワイトウォーターの市荒川エリア、2つのエリアで尖ったスポーツエコノミーを展開します。

鳴鹿エリア

鳴鹿堰堤と永平寺河川公園の間にある静水面では、カヤックの初級者練習や体験などエントリーができる。水上にはスプリントコースを設定します。堤防上にはトイレや休憩施設、さらにはカフェ、レストランやBAR、照明や音楽も加えて保護者から観光客まで楽しめます。中級エリアの河川公園まで自由に行き来できます。陸は電気無人自動車で河川敷内を交通します。

市荒川エリア

関電発電放流により通年急流が生まれる場所では、水上のフィギアスケートといわれるフリースタイルカヤックが主となります。観戦エリアにはDJや水中照明も加えたエンターテイメントや、キャンプやグリルBARなどでナイトエコノミーも創造します。下流からの電気無人自動車は鳴鹿からここまで交通します。

